



れんかくばり



明けましておめでとうございます。

皆様方には今年がよい年でありますようにお祈り申し上げます。



院長
秦 公平

昨年は循環器科で広島大学が引き上げ、整形外科で京都大学が医員を送ってこなくなったりと、まだまだ臨床研修医制度の影響が尾を引いており、医師不足は解決の時期がいつになるのかわからない状態です。何

とか鳥取大学や島根大学にお願いしてしのいでいますが、減員になりそうな科もまだあります。そうなるとデフレスパイラルに陥って、その科は過重労働になるとともに治療実績も低下するということになってしまします。当分頭の痛い状況が続くものと覚悟しています。

そこで当院としては急性期の医療を担うことをこれまで以上に明確にし、病病、病診連携をさらに密にして地域全体で患者さんを診ていく（実をいえば診療所の先生方に助けていただくということですが）ことがもっと必要になると思っています。

現在、診療医師紹介冊子の改定を行っていますが、地域医療連携交流会等も続けていき、できるだけ顔の見える連携を作つてお互いの理解を深めていきたいと考えております。

今後インターネットを利用して、先生方の方で当院の外来の診察や検査機器利用の予約ができたり、さらには紹介された患者さんの診療記録などを確認できるような体制を来年度中には構築しようと考えておりますが、少し時間を頂戴したいと思います。将来的にはどの病医院を受診しても共通の一患者一診療録とすべきと考えますが、これは一病院で行うことは不可能で、国や自治体が関与すべきものでしょう。

地域医療支援病院として医療法に定められていますように、当院の機器（検査機器や病床、手術室も含めて）の利用も行っていただければと思います。

今年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

新任医師紹介



集中治療科
1月～

飯塚 悠祐

1月から採用になりました。
美しい歴史のある街、松江で微力ではございますが、お役にたてるよう頑張りたいと思います。
宜しくお願ひ致します。



救急部
12月～

児玉 祐加子

この度、平成22年12月から、松江赤十字病院救急部に赴任して参りました児玉祐加子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

簡単ではございますが、自己紹介をさせて頂きます。平成15年に川崎医科大学を卒業し、同院の救急部に入局しました。その後、平成19年からは、市立三次中央病院で内科医として勤務し、この度、再び救急部に戻ることとなりました。

開業医の先生方には、患者様をご紹介いただき、いつも、どうもありがとうございます。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、松江市の救急医療に少しでも貢献できるように努めて参りますので、ご指導の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新しくなった検査部のご紹介

3月の高層棟開院と同時に検査部も高層棟2階に引越しました。一番変わったのは採血室と待合です。待合は今まで狭い廊下に椅子を置いて待っていただきましたが、このたび広くて明るい専用の待合と採血室ができました。採血室では、最大6人同時に採血が出来るようになりました。車椅子の患者さんにはそのまま採血できるように、採血台の高さが電動で上下する専用の採血台が2台入り、また隣の様子が分からないように採血台に衝立も設置しました。



外待合

さらに、患者さんの呼出しはプライバシー保護の為、本日の受付番号（病院全体が1日同じ番号で呼出しを行っている）で行っており、外待合から内待合には大型のディスプレイを使用した案内表示板で行っています。なお、採血の前には必ず本人確認の為、名前と生年月日を名乗っていただいています。



他にも自動分析装置のほとんどが最新の機器に入れ替わり、診察前に報告可能な検査項目では特に甲状腺ホルモン (Free T3, Free T4, TSH)や腫瘍マーカー



(P S A、C A 15-3 他) の反応時間が8分短縮（測定時間約20分）され、待ち時間の短縮につながっています。また、C Y F R A、P I V K A II、A F P-L 3% の腫瘍マーカーを院内で検査を開始し、診察前に結果報告可能な腫瘍マーカーの数は10項目になりました。さらに、血中薬物濃度に免疫抑制剤（タクロリムス、シクロスボリン）の測定も開始するなど、専門医療のニーズに合わせて、新しい項目の測定も始めています。従って、診察前には生化学、免疫、感染症、一般検査、血液検査等あわせて約100項目の検査結果報告が可能となっています。

生理検査室では、従来紙に打出していた心電図や脳波はそのまま波形データとして生理検査システムに取り込まれ、電子カルテ端末から簡単に参照できるようになりました。従って患者さんには心電図の記録用紙を診察室まで持つて行っていただかなくてもよくなりました。

検査部の当直体制は、臨床検査技師2名体制で行い、24時間いつでも緊急検査や輸血検査に迅速に対応し、3次救急医療を支えています。また、救急医療の要望に応えて、プロカルシトニン、B N P等を報告できる体制も整えました。



下に現在の検査技師が取得している認定資格を示しますが、今後とも当院の理念「高度、良質、公正」をサポートする為、「正確、迅速、丁寧」をモットーに、地域医療に貢献できる検査室を目指して努力を続けて行きたいと考えております。これからもよろしくお願ひいたします。



認定資格取得者数(延べ人数)

H23年1月現在

医学博士	1名
日本臨床化学会認定臨床化学者	1名
認定輸血検査技師	1名
認定H L A技術者	1名
日本糖尿病療養指導士	3名
認定超音波検査士	11名
認定血液検査技師	1名
認定一般検査技師	1名
2級臨床検査士	6名
M E 2種	1名
医療情報技師	1名

かかりつけ医を作ってください

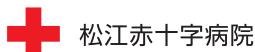
患者さんに病院へのかかり方を考え
ていただく時代になりました。

普段から気軽に相談できる「かかりつけ医」を作っていただき、真の救急以外は、まず「かかりつけ医」を受診してください。必要であれば紹介状をお持ちになって当院を受診していただきたいと思います。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

院長 秦 公平

～「かかりつけ医」をお持ちでない方へ～
当院では「かかりつけ医」をお持ちでない方の相談もうかがっております。
地域医療連携課までお気軽にご相談ください。



日本赤十字社
Japan Red Cross Society



お知らせ
INFORMATION

かかりつけ医を持ちましょ

う。ポスターを作成いたしました。

病病・病診連携をさらに密にして、かかりつけ医を持つことの
必要性をお知らせしようとポスターを作成いたしました。
病院内に掲示し、急性期病院へのかかり方を患者さんや家族の
方々に考えていただく機会になればと思っております。



研修会等のご案内

第11回日本褥瘡学会

島根県民会館(松江市)

3/6 日 「中国・四国地方会学術集会」

会長 安楽邦明 (松江赤十字病院)

外来糖尿病教室

3/17 木 10:00～13:30 厚生棟会議室

「さあ！春に向かって 動きましょう」

- 無理なく続ける運動療法
- 食事療法のコツ⑤ 時には基本にかえって
- だれにでもできる 簡単ストレッチ Part.3

糖尿病・内分泌内科 医師 山本公美
管理栄養士 (糖尿病療養指導士) 引野義之
病棟看護師 (糖尿病療養指導士)

第8回 地域医療勉強会 ~看護師さん あつまれ~

2/16 水

2/17 木

14:00～15:00 厚生棟会議室

「基礎から始めるスキンケア講座」

皮膚・排泄ケア認定看護師 石飛仁美

松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261

